

2020年11月20日
一般社団法人戸越銀座エリアマネジメント
株式会社日立システムズ

戸越銀座商店街と日立システムズが商店街のみで利用可能な デジタル地域通貨「戸越銀座ポイント」の導入に向けて実証実験を開始

スマートデバイス上で動作する Web アプリケーションを活用したキャッシュレス決済のほか、
地域に密着した呼び込み施策を展開できる機能を通じて地域活性化と利便性向上を推進

概要

一般社団法人戸越銀座エリアマネジメント(代表理事:山村俊雄、本社:東京都品川区/以下、戸越銀座エリアマネジメント)と株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:柴原 節男、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、戸越銀座商店街において、商店街をはじめとする周辺地域の活性化や地域住民の利便性向上および新型コロナウイルス感染予防対策や今後の新しい生活様式への対応を目的に、戸越銀座ポイントの導入に向けた実証実験を開始します。

戸越銀座ポイントとは、戸越銀座商店街のみで利用が可能なデジタル地域通貨です。スマートデバイス上で動作する Web アプリケーションを通じて商店街にある飲食店などの各店舗での支払いなどが可能になるほか、地域に密着した呼び込み施策として展開できます。

今回の実証実験を通じて、戸越銀座エリアマネジメントは、店舗を含めた利用客のサービス受容性とマーケティング効果を確認し、地域内でのコミュニケーションの活性化や経済循環につなげます。なお、本実証実験は11月20日、21日に戸越銀座商店街内の14店舗を対象に実施し、事前に募集した100名のモニターが参加予定です。



実証実験を実施する戸越銀座商店街(左)とWebアプリケーション(右)

背景

少子高齢化、人口減少、利用客の地域外流出により地域経済の根幹を支える観光地や商店街が苦境に立たされており、利用客の地域外流出を防ぐとともに、新規利用客やインバウンドの取り込みが求められています。また、こうした厳しい状況に加え、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防対策を

念頭に置いた地域でのイベント開催が求められる等、これまでとは異なる新規利用客の呼び込み施策や利用客の再訪施策が迫られています。

デジタル技術を活用したスマート化や新型コロナウイルス感染予防対策を意識した取り組みとして、キャッシュレス決済の導入・検討を進めている地域もありますが、決済端末の導入コストの負担、高齢者のデジタル化に対する抵抗感などから導入の障壁が高く、さらに、既存のキャッシュレス決済では地域外に情報や資金が流出してしまうため、地域に密着した集客・販促活用に利用しにくく、地域内での情報や資金の循環が難しい状況となっています。

詳細

こうした背景を踏まえ、戸越銀座エリアマネジメントと日立システムズは、戸越銀座商店街において、既存のキャッシュレス決済ではなく、戸越銀座商店街のみで利用可能な戸越銀座ポイントの導入に向けて、新型コロナウイルス感染予防対策や今後の新しい生活様式を意識した実証実験を実施します。

戸越銀座ポイントは、利用客が利用登録を行ったうえで、加盟店でのチャージや支払いが可能なデジタル地域通貨です。利用客のスマートデバイス上の Web アプリケーションで管理される通貨により、商店街にある飲食店などの各店舗での支払いを可能とすることで、キャッシュレス決済機能を実現します。

戸越銀座ポイントの導入によって、キャッシュレス決済機能以外にも、商店街で利用可能なクーポン券の発行や来店ポイントの付与はもちろん、地域貢献に寄与した遠隔地の会員へのポイント付与や加盟店へのポイント還元が可能となり、戸越銀座エリアマネジメントは、これを活用したイベントの企画など、地域ごとの課題や時流にあったコミュニケーション活性化の取り組みを実現できます。戸越銀座ポイント導入による対象店舗へのシステムの操作説明などは日立システムズが実施し、キャッシュレス決済の導入をワンストップで支援します。

また、戸越銀座エリアマネジメントは戸越銀座ポイントの利用範囲を戸越銀座商店街に限定することで、地元の金融機関とも連携した地域内での経済循環が可能になるほか、利用客の購買履歴などのデータを収集・活用することで、新たな集客・販促施策への活用を予定しています。将来的には、チャットボット機能を活用したおすすめ店舗紹介のほか、スタンプラリーなど商店街の魅力を知ってもらう仕組みなどの新機能を導入することで、利用客が何度も訪れたいくなる商店街をめざします。

なお、戸越銀座ポイントを支えるキャッシュレス基盤には、日立製作所研究開発グループが開発した基盤を採用しています。各種決済機能は API^{*1}として実装されており、低コストでセキュアな情報管理を行うことが可能です。将来的には生体認証を活用した本人確認などの機能も実装する予定であり、チャージや支払いなどがより安全で便利になるよう拡張していく予定です。

*1 API(Application Programming Interface) :ソフトウェアの機能や管理するデータを外部プログラムから呼び出して利用するための仕様

今回の実証実験を通じて、戸越銀座エリアマネジメントは、利用客のサービス受容性とマーケティング効果を確認し、地域内でのコミュニケーションの活性化や経済循環の仕組みづくりを検討していきます。

また、今後、日立システムズは、地域内・外のコミュニケーションをより活発にし地域への新たな還元策としたい自治体や地方銀行、商店街に対し、さまざまなデジタルイゼーションサービスを提供することで地域活性化への取り組みを支援します。

■戸越銀座商店街の実証実験概要について

期間:本年11月20日から11月21日

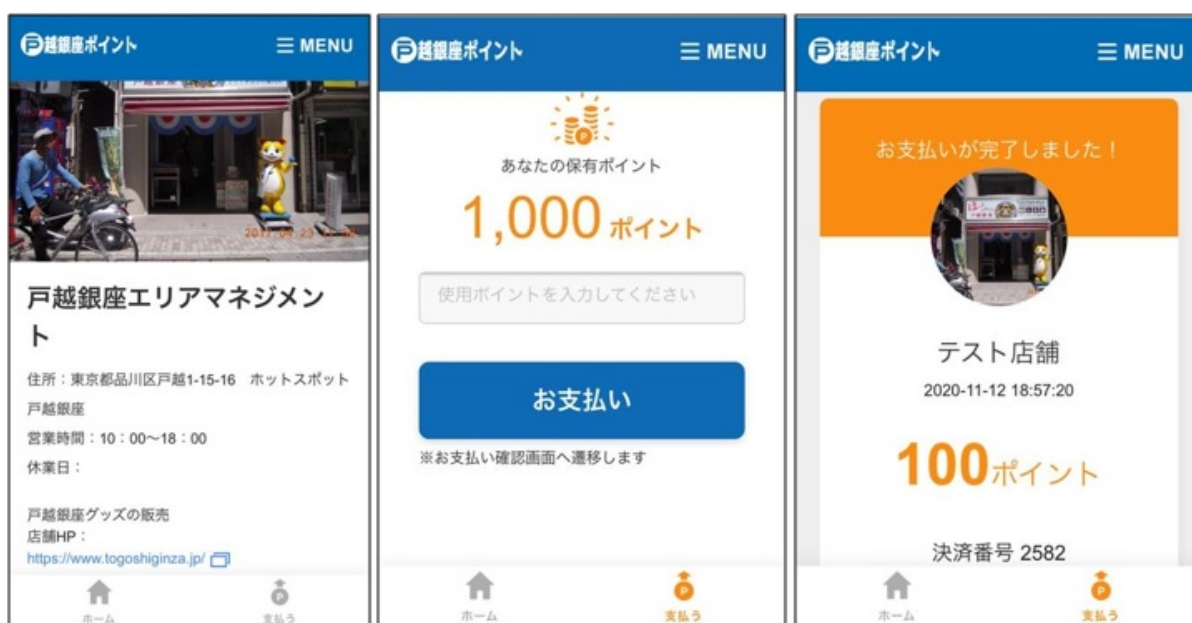
対象エリア:戸越銀座商店街

対象店舗:戸越銀座商店街内 14店舗

参加者:事前募集したモニター100名

■「戸越銀座ポイント」について

電子化されたデジタル地域通貨による非接触キャッシュレス決済(二次元バーコード決済等)やクーポンの発行、来店ポイントの付与はもちろん、他会員へのポイント贈与や加盟店へのポイント還元、イベントの企画などコミュニケーション活性化の取り組みを実現



■戸越銀座エリアマネジメントについて

一般社団法人戸越銀座エリアマネジメントは、戸越銀座商店街に訪れる多くの来街者や、地域住民、企業等の、店主以外の方々の力を借りて、「戸越銀座」というエリア全体の発展をめざして、さまざまな活動を展開することを目的に、昨年9月に設立されました。

今後は多様な関係者が連携して、商店街だけではできなかったような、ダイナミックな企画を積極的に実施し、地域のブランド力向上やイメージアップなどの価値向上に取り組んでまいります。

詳細は <https://www.togoshiginza.or.jp/> をご覧ください。

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約 300 か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みの IT サービス企業です。多彩な「人財」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタルライゼーションに貢献し、新たな価値創造に共に取り組み、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーをめざします。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。